

みんなのポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.106; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-09-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/4774

**Local Communities in
the Information Age**
The Construction of Local
Networks Based on ICT

Edited by

Seiko Sugimoto

National Museum of Ethnology
2012 Osaka

ISSN 1340-6787
ISBN 978-4-901906-95-1 C3036

情報化時代のローカル・コミュニティ
ICTを活用した地域ネットワークの構築

杉本星子
編



**情報化時代の
ローカル・コミュニティ**
ICTを活用した地域ネットワークの構築

杉本星子 編

国立民族学博物館 2012

国立民族学博物館 調査報告

106

情報化時代のローカル・コミュニティ

ICT を活用した地域ネットワークの構築

杉本星子 編

国立民族学博物館

2012

目 次

序論：情報化時代のローカル・エスノグラフィー	杉本星子	3
第Ⅰ部 情報化時代の「コミュニティ」		
第1章 「コミュニティ」とは何か —— 地域 SNS をめぐる政策から考える ——	原 知章	15
第2章 「コミュニティネットワーク」への欲望を解体する	木村忠正	41
第3章 地域における社会ネットワークと情報通信技術	庄司昌彦	61
第Ⅱ部 地域 SNS を活用したローカル・ネットワークの構築		
第4章 国・自治体による地域 SNS —— 施策とその効果の検証 ——	田中秀幸	83
第5章 自治体の情報化と経営度における地域 SNS の役割	久保貞也	105
第6章 災害と地域 SNS —— 佐用豪雨災害で可視化された救援・復興のつながり効果 ——	和崎 宏	127
第7章 「地域ジャーナリズム」という事業 —— SNS に取り組んだ地方紙7社への調査から ——	畑仲哲雄・林 香里	147
第8章 地域 SNS の日記コミュニティ —— 「書くこと・読むこと」が紡ぐローカル・ネットワーク ——	杉本星子	179
第Ⅲ部 情報化とローカル・コミュニティ		
第9章 アフリカ牧畜社会における携帯電話利用 —— ケニアの牧畜社会の事例 ——	湖中真哉	207
第10章 ノマディズムと遠距離通信 —— マダガスカル、ヴェズ漁民における社会空間の重層化 ——	飯田 卓	227

第Ⅰ部

情報化時代の「コミュニティ」

第Ⅱ部

地域 SNS を活用したローカル・ネットワークの構築

第Ⅲ部

携帯とローカル・コミュニティ

執筆者一覧

(収録順)

- 杉 本 星 子 (すぎもと せいこ) 京都文教大学総合社会学部 教授
- 原 知 章 (はら ともあき) 静岡大学人文社会科学部 准教授
- 木 村 忠 正 (きむら ただまさ) 東京大学大学院総合文化研究科 教授
- 庄 司 昌 彦 (しょうじ まさひこ) 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
講師／主任研究員
- 田 中 秀 幸 (たなか ひでゆき) 東京大学大学院情報学環 教授
- 久 保 貞 也 (くぼ さだや) 摂南大学経営学部 准教授
- 和 崎 宏 (わさき ひろし) 関西学院大学総合政策学部 非常勤講師
インフォミーム株式会社 代表取締役
- 畑 仲 哲 雄 (はたなか てつお) 東京大学大学院学際情報学府
- 林 香 里 (はやし かおり) 東京大学大学院情報学環 教授
- 湖 中 真 哉 (こなか しんや) 静岡県立大学国際関係学部 准教授
- 飯 田 卓 (いいだ たく) 国立民族学博物館 准教授

Senri Ethnological Reports (最新号)

当館のウェブサイトにてバックナンバーのPDFをダウンロードすることができます。

<http://ir.minpaku.ac.jp/dspace/handle/10502/49>

No.105 *Buddhist Fire Ritual in Japan* (2012; Madhavi Kolhatkar and Musashi Tachikawa; 英語)

No.104 東アジアの民族イメージ——前近代における認識と相互作用 (2012; 野林厚志; 日本語)

No.103 マダガスカル地域文化の動態 (2012; 飯田卓編; 日本語)

No.102 「障害のない社会」にむけて——ウェルビーイングへの問いとノーマライゼーションの実践 (2012; 鈴木七美編; 日本語)

No.101 *Altai Uriankhains: Historical and Ethnographical Investigation Late XIX – Early XX centuries* (2012; Ichinkhorloo LKHAGVASUREN; 英語・モンゴル語)

No.100 土方久功日記Ⅲ (2011; 土方久功, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)

No.99 *Research Notes on the Zhangzhung Language by Frederick W. Thomas at the British Library* (Bon Studies 14) (2011; eds. Tsuguhito Takeuchi, Burkhard Quessel and Yasuhiko Nagano; 英語)

No.98 *A Great Tibetan-Mongolian Lexicon* [CD-ROM] (2011; eds. Urianhai L. Terbish, Urianhai T. Chuluun-Erdene; チベット語、モンゴル語)

No.97 海洋環境保全の人類学——沿岸水域利用と国際社会 (2011; 松本博之編; 日本語)

No.96 *Socialist Devotees and Dissenters* (2011; Interviews conducted by Yuki Konagaya, I. Lkhagvasuren, translated by Mary Rossabi, edited and compiled by Morris Rossabi; 英語)

No.95 *Bonpo Thangkas from Rebkong* (Bon studies 13) (2011; ボンギャ ゲレ フンドウツプ ギャムツォ・津曲真一・立川武蔵・長野泰彦編; 英語, チベット語)

No.94 土方久功日記Ⅱ (2010; 土方久功, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)

No.93 *Une version rgyalrong de l'épopée de Gesar* (Gyarong Studies 1) (2010; Guillaume Jacques and Chen Zhen, ed. Yasuhiko Nagano; フランス語)

No.92 *ТУВА БЕК СПУСТЯ ПОСЛЕ КАРПУТЕРСА И МЕНХЕХ-ХЕЛЬФЕНА* (2010; M.B. МОИГУИИ (マリナ・モングーシュ); ロシア語)

No.91 *ОДИН НАРОД: ТРИ СУДЬБЫ* Тувинцы России, Монголии и Китая в сравнительном контексте (2010; M.B. МОИГУИИ (マリナ・モングーシュ); ロシア語)

No.90 人類学的比較再考 (2010; 出口顯・三尾稔編; 日本語)

[国立民族学博物館刊行物審査委員会]

須藤 健一 館長
西尾 哲夫 副館長
杉本 良男 副館長
韓 敏 民族社会研究部
八杉 佳穂 民族文化研究部
寺田 吉孝 先端人類科学研究部
岸上 伸啓 研究戦略センター（研究出版委員長）
朝倉 敏夫 文化資源研究センター

平成24年8月31日発行

国立民族学博物館調査報告 106

編 者 杉 本 星 子

発 行 人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL. 06(6876)2151(代表)

印 刷 株式会社 遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL. 06(6304)9325(代表)
